

<研究課題名>		E-0901 (H-091)	気候変動の国際枠組み交渉に対する主要国の政策決定に関する研究	
<研究概要> 本研究は、次期枠組みに関する国際交渉の最終段階における政策立案者への具体的なインプット、及び、合意達成後の各国内での効果的な実施過程への移行に向けた政策提言を最終達成目標とする。この目標達成のため、主要国（米国、欧州、アジア新興国、ロシア）の国内政策決定（政治、経済、エネルギー政策、外交政策等）を踏まえた政策研究、および主要国にとって受け入れられる国際制度構築に関する研究を実施する。 (1) 総括班：主要国の政策決定の比較分析◆次期枠組みに対する主要国の態度を踏まえた結果、合意可能な国際制度を検討する。 (2) 総括班：気候変動政策の国際法的検討◆交渉の結果として構築される国際合意の内容を、国際法的観点から分析する。 (3) 米国：国内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆新大統領の下での米国政治が同国の気候変動政策に及ぼす影響を分析する。 (4) 米国：エネルギー技術開発・投資が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆米国のエネルギー技術が気候変動政策決定に及ぼす影響を分析する。 (5) 欧州・米国：国内排出枠取引制度が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆両国・地域にて独自に進展しつつある炭素市場形成が、気候変動に関する国際交渉過程に及ぼす影響を分析する。 (6) 欧州：域内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆欧州の政治経済的動向を中心に、同地域の気候変動政策の決定過程分析を行う。 (7) アジア新興国：国内政治および政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆中国とインドの政治、経済発展パターン、エネルギー政策、外交政策等諸事情が、両国の態度に及ぼす影響を分析する。 (8) ロシア：国内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆ロシアの政治経済的動向を踏まえ資源・環境政策および国際交渉での態度を説明する。 (9) ロシア：エネルギー政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究◆ロシアのエネルギー政策・貿易政策が気候変動政策に及ぼす影響を分析する。 (10) 主要国：森林政策が気候変動対策に及ぼす影響に関する研究◆米国、欧州、アジア新興国、ロシアでの森林政策を横断的に分析し、次期国際枠組みにおける森林が果たす役割を検討する。				
<研究代表者>		亀山 康子		独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員 (42才)
No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	総括班：主要国の政策決定の比較分析	◎	亀山 康子 久保田 泉	独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員 独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究領域研究員
(2)	総括班：気候変動政策の国際法的検討	○	高村 ゆかり	龍谷大学法学部教授
(3)	米国：国内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	久保 文明	東京大学法学部教授
(4)	米国：エネルギー技術開発・投資が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	有村 俊彦	上智大学経済学部准教授
(5)	欧州・米国：国内排出枠取引制度が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	新澤 秀則	兵庫県立大学経済学部教授
(6)	欧州：域内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	蟹江 憲史	東京工業大学大学院社会理工学研究科准教授
(7)	アジア新興国：国内政治および政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	田村 堅太郎 エリック・ザスマン 福田幸司 ジャナト・ハサン・ナンダク 石鍋渚	(財)地球環境戦略研究機関気候変動グループ主任研究員／グループ副ディレクター (財)地球環境戦略研究機関気候変動グループ研究員 (財)地球環境戦略研究機関気候変動グループ研究員 (財)地球環境戦略研究機関気候変動グループ研究員
(8)	ロシア：国内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	上垣 彰	西南学院大学経済学部教授
(9)	ロシア：エネルギー政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	田畑 伸一郎	北海道大学スラブ研究センター教授
(10)	主要国：森林政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究	○	天野 正博	早稲田大学人間科学学術院教授